

平成22年1月12日

「フィッシング対策セミナー」を開催

～大切な顧客情報をフィッシングから守るための対策講座～

経済産業省では、フィッシング被害に遭う企業を対象にフィッシング詐欺から大切な顧客情報等を保護するための対策や現在の状況に関する「フィッシング対策セミナー」を1月28日(木)に東京会場にて、翌29日(金)に大阪会場にて開催します。

本セミナーは、フィッシングの危険性や対策について広く周知することで、被害の抑制や対策の実施に繋げることを目的として、国内外における実際に生じた事例や被害状況、及び事業者における対策などを御紹介します。

1. フィッシングとは

フィッシング (phishing) とは、金融機関やオンラインショップなどを装った電子メールを送り、住所・氏名・銀行口座番号・クレジットカード番号などの個人情報を詐取る行為で、米国を中心に大きな被害を生んでいる詐欺の方法です。近年は日本でも被害が報告されており、顧客保護の観点からインターネット関連事業者・金融機関等は、自社の顧客に対するフィッシング行為が行われていないか、十分に注意を払う必要があります。

2. フィッシング対策セミナーの趣旨

経済産業省では、フィッシングの危険性や対策について広く周知することで、被害の抑制や対策の実施に繋げることが重要との観点からフィッシング被害に遭う企業を対象に「フィッシング対策協議会」と連携し、「フィッシング対策セミナー」を東京・大阪の2会場で開催することにしました。

3. 日時・場所

< 東京会場 >

日時：2010年1月28日(木) 13:30 - 17:00

場所：株式会社三菱総合研究所 1階AVルーム

<大阪会場>

日時：2010年1月29日（金）13：30 - 17：00

場所：大阪合同庁舎1号館 第1別館2階 大会議室

4. 参加登録方法及び詳細

本セミナーは、フィッシング対策協議会のホームページにて事前の参加登録（参加費は無料）を行っております。参加登録及び詳細は下記 URL より御参照下さい。

<http://www.antiphishing.jp/information/information1026.html>

（ご参考）

フィッシング対策協議会：

日本国内におけるフィッシング詐欺被害の抑制を目的として2005年に発足した団体。フィッシング詐欺に関する事例情報、技術情報の情報収集及びインターネット関連事業者や金融機関等、及び一般消費者への情報提供を中心とした活動を行っている。

<http://www.antiphishing.jp/>

（本発表資料のお問い合わせ先）

商務情報政策局情報セキュリティ政策室長 山田 安秀

担当者：清水、納屋

電話：03 - 3501 - 1511（内線 3964～6）

03 - 3501 - 1253（直通）

(別紙)

「フィッシング対策セミナー」の概要

日時および場所：

東京会場

2010年1月28日(木) 13:30~17:00

株式会社三菱総合研究所 1階 AVルーム

大阪会場

2010年1月29日(金) 13:30~17:00

大阪合同庁舎1号館 第1別館2階 大会議室

主催：経済産業省、フィッシング対策協議会

参加費：無料(ホームページより事前登録が必要)

定員：東京・大阪会場それぞれ100名(申し込み多数の場合は抽選)

プログラム構成

時間	内容
13:30	開会
13:30-13:35	開会挨拶 経済産業省
13:35-14:35	基調講演(同時通訳) 「米国におけるフィッシング被害と対策の現状(仮題)」 APWG(Anti Phishing Working group) 副事務総長 Foy Shiver 氏
14:40-15:20	講演1(講演1は東京会場と大阪会場で講師が異なります) 東京会場：「事業者におけるフィッシング対策の状況(仮題)」 ヤフー株式会社 大阪会場：「SNSをターゲットにしたフィッシングの実情」 株式会社ミクシィ コーポレートデザイン室情報セキュリティグループ マネジャー、CISSP 軍司 祐介氏
15:20-15:35	(休憩)
15:35-16:15	講演2 「我が国における不正ドメインの現状(仮題)」 株式会社日本レジストリサービス 業務部 部長補佐 白岩 一光氏
16:20-17:00	報告 「急増する日本のフィッシング被害、そしてその対策」 フィッシング対策協議会/JPCERT コーディネーションセンター 小宮山 功一朗氏
17:00	閉会